

顔認証型非接触・高速体表温度検知システム Quick hygiene Terminal

■本システム「QHT」の特徴

- ❶ 0.4秒以内で検知(±0.3℃)が可能。*10分以内に約300人を測定。
美・博館、図書館などの公共施設、教育・観光・スポーツ施設、
イベント会場、各種サロンなど、多くのお客様が来場・来店する場所に最適です。
- ❷ 価格:
「体表温度検知」に特化したシステム採用により、
低価格を実現(他社のAI検温システムの1/3以下)
- ❸ 月産10,000台の供給体制。
2020年5月末より本格出荷開始。*サンプルによる試用を実施中です。



(高さ:380 幅:160 奥行:200/mm)

■表面温度検知の仕組み



■機能比較

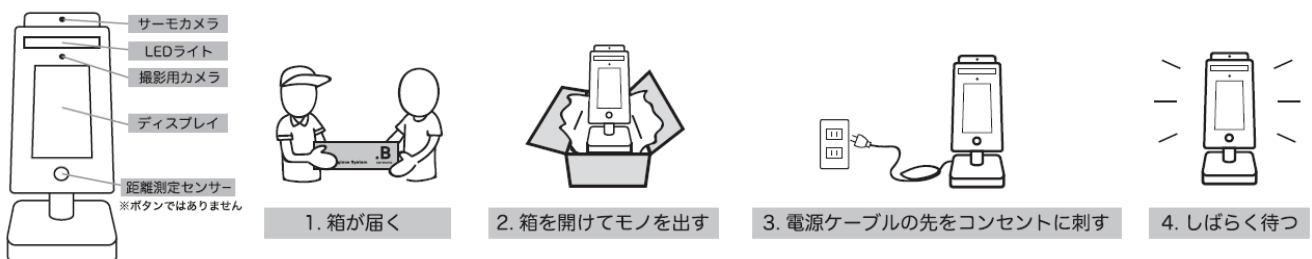
	Quick Hygiene Terminal	ピストル型検温機
計測距離	○ 35 - 60cm	△ 5cm - 15cm
安全性	○ 利用者が自ら測定できるため、 測定者のリスクが少ない または、 測定する人材は必要ない (利用者が慣れることで)	△ 測定する際の 濃厚接触のリスクあり
効率性	○ 測定する人が必要ないので 人材コスト削減が可能 測定所要時間: 1秒~3秒 体温記録時間: 0秒 (データ保存には別途設定が必要です)	△ 測定する人間が必要となるため 人材コストが必要 となる。 測定所用時間: 5秒から10秒程度 体温記録時間: 10秒/人当たりの測定記録時間: 15秒~20秒
拡張性	○ データ管理機能・顔認証利用者管理 自動ドア等の物理的ゲート連携	△ なし
メリット	○ 設置が簡単・人材コストが削減できる・人材の安全の確保 お客様への安心感を提供可能・個人情報のDB化が容易	△ 機器本体が安価
デメリット	△ コスト (※ただし補助金の利用が可能です)	△ 時間がかかりすぎる (めんどくさい)・測定する人材が必要 効率性と安全性が低い及びデータ管理がアナログになってしまう。
最適な利用環境	入場管理 (公共施設、イベント、小売店) 出勤 (学校、事業所など)	プライベートの利用

なお、本検温機は医療機器ではありません。

職場意識改善助成金 5/29で締切り

<https://39.gigafile.nu/0608-6ae4afc564269909dbdf80c0f3616ed7>

■使い方



【問い合わせ先】

日本文化出版株式会社 本間 直樹 tel 03-3365-7373 e-mail:n.honma@nbp.ne.jp